

# 笑顔SUN SUN

府中東小学校  
3年生  
学年通信 12月号  
R5年12月1日

早いもので今年も残り1か月となりました。11月には東っ子発表会や消防署見学といった子どもたちが楽しみにしている行事があり、各行事を通して子どもたちの成長を感じることができました。特に、東っ子発表会では、保護者の方が見て下さっていることもあり、練習の時よりもはりきって発表することができました。本当にありがとうございました。

朝夕が特に冷えるようになりました。体調を崩しやすい時期になるので、手洗い・うがいなどの健康管理にご留意いただきたいと思います。

## 楽しんだよ！～東っ子発表会～

11月18日(土)に東っ子発表会がありました。3年生は、「本当の宝物」という劇を行いました。

約1か月前、3年生全員が体育館に集まり、「声！ジェスチャー！なりきって東っ子発表会を成功させよう！」という発表会での素晴らしい目標を決めてスタートしました。練習は、場面ごとに分かれて、子ども同士でアドバイスをしたり、よい所を伝え合ったりしました「声が聞こえにくいから、もっと大きい声を出そう。」「すごい！なりきっている！」「ジェスチャーはこうした方がいいよ。」など、自分たちの表現力が高まるように前向きに取り組む姿が見られました。

そして、当日。本番前は、「緊張する。」という子どもが多かったのですが、終わってみれば、「楽しかった！」とすがすがしい表情で感想を述べる子どもたちがたくさんいました。舞台裏で、友達のがんばりを両手を握りしめて応援する子、いつもより大きなジェスチャーで表現できた子、家族に手を振られ嬉しそうなお子、全ては、本番に向けて仲間と一生懸命取り組んだ姿の表れだと思います。

子どもたちは、自信をもって舞台上がり、仲間と共に一つのものを創り上げることができました。保護者の皆様、会場での温かい反応、そして、服や道具などの準備等たくさん支えていただきありがとうございました。

「本当の宝物」を楽しく演じきった、素晴らしい役者さんたちに盛大な拍手をお願いします！



## 東っ子発表会を終えて…

渡橋ももか

わたしは、はじめ、あんなに大きな声でえんぎできるのかなとふあんになっていました。「しんさいんは、かっよく、どうとうとしっかりとしていないといけない。」と思うと、もっと「できるのかな。大じょうぶなのかな。」とふあんになっていきました。でも、練習をたくさんするとしんしんをもてるようになりました。

どんな練習をしたのかを書きます。まず、三年三組に集まって、しんさいんでジェスチャーをどうするか、みんなで考えました。他に、遠くでも声がとどくかやったりして、「もっと大きな声出せるよ。」

「がんばれ、ファイト、できるよ。」

とか、たくさん声かけをしました。みんながしていたから、ふあんが一気にとんでいって、しんしんにかわりました。

次に、たくさんのおきゃくさんが来たりリハーサルのことを書きます。はじめておきゃくさんが来て、ふたいに立つと、とってもときどきしてふるえました。ふたいうらは暗くてせまかったけど、なんだか落ち着かなくて、ときどきわくわくしていました。でも、ここまできたのは、これだけがんばってきたしょうこです。こんなにがんばったので本番はかんぺきにできました。よかったです。

市川三琴

ついに私の出番、ガメツキランドになりました。(まちがえないかなあ。だいじょうぶかな。)とと思っているうちに、武田さんが、

「これはいつごろのダイヤですか。」

と言ったので、きんちょうしつともどうとうと、はっきり言えたと思います。さいごの、

「ええ～、どうして。」

のところで、みんなで合わせることでできたのでうれしかったです。

次は、ステージのはしっこでしずかに待って、発表している子の言葉を聞きます。アセミド口国が終わって、アラマー共和国です。私が一番好きな国です。耳をすませて聞いていると、

「これ、アラマー共和国のタカラ。」

と聞こえてきました。(きたきた。)と思いました。すごくワクワクしてきました。6場面も好きです。心の中で、(この木 なんの木 気になる木 名前も知らない木ですから)と歌いました。終わりにみんなが集まっている時に、お母さんが手を振ってくれました。私は、お母さんや他の人にダイヤや指輪を見せてもどりました。(とっても楽しかった。)と思いました。

河井ゆうたろう

東っ子発表会ができてよかったと思います。東っ子発表会に出ることができない人もいたけど、その分がんばりました。

がんばったことは、短いセリフだったけれど、ジェスチャーをちょっとふやしたし、リハーサルよりも声も出ているんじゃないかと思いました。ゆっくり言うのががんばりました。どんな力がついたかということ、知らない人の前で伝える力や、他の人や場面のよい所をまねしたり自分に生かす力もつきました。

ふたいそでにいた時は、あまりきんちょうしていなかったけど、5場面からきんちょうしてきました。東っ子発表会は、楽しかったです。

### ～保護者の方からの温かいメッセージ～

- ・土曜日の発表会、ありがとうございました。毎日、どんな練習をしたかうれしそうに話してくれ、本番を楽しみにしていました。当日は、すごく緊張していたようですが、無事に終えて誇らしげにしていた顔が印象的でした。
- ・「本当の宝物」すばらしかったです。ストーリーも子どもたちの一生懸命な演技も感動しました。ありがとうございました。
- ・とても素晴らしい劇でした。話の内容がよく頭の中に入ってきました。子どもも上手にアラマー共和国の人になりきっており、うれしかったです。ほかのみんなも自信満々で、楽しそうで見ごたえがありました。ありがとうございました。



## 発表会の後で…

発表会の後、みんなで集まって記念写真です！



## 生で見たよ！～府中町を守る消防署の仕事～

11月29日（水）に、府中町消防署に社会見学に行きました。社会科の授業で学習している内容ということもあり、子どもたちは、この日を楽しみにしていました。

消防署に着くと、教科書で見たかっこいい消防士さん達が迎えてくださいました。消防車に救急車、はしご車、たくさんのホースなど、どこを見ていいのかわからないくらい興味のある物が目に飛び込んできました。

消防士さんの分かりやすい説明のおかげで、教科書では分からなかったことも具体的にイメージすることができました。1秒でも早く着替えて出動したり、たくさんの道具を使うための訓練を行ったりと、町民のために日々がんばって働かっている消防士さんにさらに興味をもった3年生でした。

けむりがすごいね！  
本当の煙は黒いらしいから、もっと見えにくいんだろうね。壁を触りながら歩くのがポイントなんだね。

救助工作車には、200種類以上の道具があるんだって！



消防士さんの早着替えに固唾をのんで見守る子どもたち。たったの48秒で着替え終わり、子どもたちは大興奮！1秒でも早く現場に駆け付けるための技を見せていただきました。



仮眠室まで見せていただきました！



119番通報体験をしました。ドキドキしたけれど、消防署の方の質問に答えることができました。



はしご車は、マンションの31階にいる人まで助けられるらしいよ。



いつでも出動できるように、着るものや道具が整理されているね。



私たちの質問にも分かりやすく答えて下さいました。